

S1d

7月26日

9:30~10:15

会議室D

テクニカルセッション



小林 偉昭

独立行政法人 情報処理推進機構

技術本部 セキュリティセンター 情報セキュリティ技術ラボラトリー

ラボラトリー長

セキュアな情報家電の作り方

プロフィール

1970年早稲田大学工学部応用物理科卒業。1972年東京工業大学理学部物理学専攻修士課程終了。同年(株)日立製作所入社。ネットワークとセキュリティの事業企画。2006年より(独)情報処理推進機構セキュリティセンター。情報セキュリティ技術ラボラトリー長。脆弱性、マルウェア、不正アクセス等の運用業務の統括、最近ではスマートフォン、重要インフラの制御システム及び自動車・情報家電等の組込みシステムセキュリティなどの調査・分析等に従事。

講演概要

サーバやパソコンなどの情報システムだけでなく、最近ではスマートフォン、情報家電などの組込みシステムや制御システムに対するセキュリティインシデントの発生及び脆弱性の届け出が増加してきている。開発などの初期フェーズでの脆弱性検出などのセキュリティ対策が、運用フェーズでの大規模な対策費用の低減にも効果がある。

今回の講演では、情報家電としてネットワーク接続が急増するインターネットテレビを対象に設計・開発者が考慮すべきセキュリティ項目について、各構成要素へのセキュリティ脅威と対策について説明する。また、情報家電などはメモリやCPU性能などの機器リソース不足、納期に追われた開発体制・期間など多様な課題があるので、情報家電を含む組込みシステムに対する16項目のセキュリティ対策のガイドを活用していくことが必須である。さらに、最近IPAで実施している脆弱性を検出するファジング業務の活動状況とその結果の紹介、またライフサイクルの中でどう活用したらよいか、公開している「ファジング活用の手引き」などを紹介する。

S1d

7月26日

9:30~10:15

会議室D